

## 令和2年度第1回地域公共交通会議 会議録

日時:令和2年度6月29日(金)13:45~15:15

場所:南伊勢町役場 南勢庁舎3階会議室

出席者:19名(定数20名)

- ・学識経験者(名古屋大学大学院環境学研究科 加藤教授)
- ・住民代表(田畑委員(会長)、竹内委員、上村委員、加藤委員、山本委員、三浦委員、橋本委員)
- ・一般乗合旅客自動車運送事業者  
(三重交通(株)伊勢営業所長、三重交通(株)志摩営業所長、大新東(株)南伊勢営業所長)
- ・一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者(三重県タクシー協会伊勢志摩支部長:三交タクシー)
- ・一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体  
(伊勢志摩交通労働組合長)
- ・中部運輸局三重運輸支局(首席運輸企画専門官)
- ・三重県警伊勢警察署(交通規制係長)
- ・三重県(地域連携部交通政策課長、伊勢建設事務所副所長)
- ・南伊勢町(観光商工課長、教育委員会事務局長)

事務局:南伊勢町 環境生活課東課長、生活交通係 長尾、奥村

協議内容:

- 1)報告 中部運輸局三重運輸支局、伊勢警察署交通規制係、伊勢建設事務所
- 2)承認 町営バス南海線バス停「国道相賀」追加、「相賀峠口」廃止、「三浦」「アリカタ」停車  
報告 町営バス中津浜線バス停「南勢野添」での降車について
- 3)協議・承認 令和3年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
- 4)報告・協議 南伊勢町地域公共交通計画(案)について
- 5)協議・採択 南伊勢町の地域公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピール(案)

報告

- (会長)新委員の紹介(伊勢警察署 木田係長、観光商工課 島田課長)
- (三重運輸支局)活発で良い議論ができる会議のために、バスデータ活用大百科
- (伊勢警察署)運転免許返納について
- (伊勢建設事務所)南伊勢町内の道路工事予定について

議題

(会長)本日の会議は委員20名中、委任状2通の提出による代理出席も含め、出席委員は全員の20名となっておりますので南伊勢町地域公共交通会議設置要綱第6条2項の規定に基づき会議は成立します。

(事務局)町営バス南海線バス停「国道相賀」追加、「相賀峠口」廃止、「三浦」「アリカタ」停車。

町営バス南島南勢連絡線が停車する「国道相賀」バス停について、現在、南海線が停車しておらず、相賀浦地区内から相賀浦の国道付近への移動に、町営バスを利用したいので、「国道相賀」バス停に南海線も

停車してほしいとの相賀浦区からの要望がありました。

現在、この「国道相賀」バス停の五ヶ所方面行のバス停が設置されておらず、バス停標識の設置も併せて実施の予定です。

この要望に合わせ、「相賀峠口」バス停を廃止したいと考えております。

元々、1日往復1便が停車しているバス停で、相賀浦の一番最終バス停となっていますが、バス回転場として使用している場所が、海岸の埋め立て場所であり、この一部が崩れてきており、とても危険な状態です。この場所は、海であり、今後、復旧や再度埋め立てる予定はございません。1日1往復も、デマンドバスを代替え利用できる時間帯であり、休止ではなく、廃止とさせていただきます。相賀浦区には承諾書をいただいております。

それと、昨年11月の「アリカタ」バス停への停車について、改正をしましたが、朝の2便の停車がされていないことがわかりました。これも、今回あわせて時刻を設定させていただきたいと思っております。この3点に、承認をお願いします。

(加藤教授)

相賀峠口の路線は、漁協に入ります。なぜこの便だけ漁協に入るのですか？今回この意義についても一緒に考えると良い。

相賀峠口は終点で回転もしていますが、廃止以降は終点はどこになりますか？最終バス停と折り返し地点が違うのであれば、折り返し地点に最終バス停を設置するのも1案である。

(事務局)

1日、1往復のみ漁協前バス停に乗り入れているのは、把握しているが、どうして1便のみなのかは、正直、わかりません。委員さんから教えていただけたら、嬉しいです。漁協前は相賀浦の中心でもあり、乗り入れた方が良いが、場所が狭く、露天商などもあり危険ではあるとは聞おり、1便にしても頑張って入れていただいているイメージでした。志摩営業所さんをご存じでしょうか？

相賀峠口の廃止により、最終バス停は「相賀」バス停になります。バスの回転はその先の、市場のシャワーのところになります。

(中垣内委員:志摩営業所長)

漁業前の乗り入れについては、車体については同じものです。経緯は私どももわからないのですが、ただ、スペースの問題もあり安全性を重視して1便にとどめているのが現状ではないかと考えております。

(会 長)相賀峠口の廃止については事務局どうですか？利用者については大丈夫でしょうか？

(事務局) 相賀峠口のバス停ですが、回転場が崩れており物理的に乗り入れが困難な状況です。現在、1名の方のご利用について把握しております。この相賀峠口までの便については、デマンドがご利用いただける時間帯であり、代替えは設定できますので、相賀浦区からも承諾書をいただいております。

漁協前の乗り入れについては、相賀浦区と状況を把握し、検討したいと思っております。今日のところは先の3点の事項にて承認をお願いします。

(会 長)相賀浦地区のバス停の設置等について、よろしいですか？承認されました。  
漁協の乗り入れについては、また、検討してください。

(事務局)町営バス中津浜線バス停「南勢野添」での降車について

詳細について、決定していないので経過等報告です。

昨年11月のダイヤ改正により、中津浜浦発南伊勢病院経由、五ヶ所行の町営バスはが 7:35 発から 8:00 にかわりました。その後、窓口への相談、今回の住民アンケートへの記述により、「宇治山田行三重交通バスへ乗り継げなくなった。どうかしてほしい」との訴えがありました。高校前を出た後、南勢野添で下車できれば、南勢野添 8:12 へ乗り継げます。と言うことで、南勢野添をもう1ヶ所設置することを検討しております。詳細決まり次第、書面にて皆様に承認いただきたいと考えております。よろしくお願いたします。

(会 長)南勢野添バス停の追加です。後日、皆様にお諮りします。よろしくお願いたします。

(事務局)令和3年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

令和元年度につきましては、先にお知らせしたとおり、国庫補助金の基本額について、260万円の増額となりました。感謝いたします。

毎年、申請している地域内フィーダー系統確保維持計画について、承認をお願いします。

1、目的と必要性は、例年通りです。2、目標は、デマンドバス1日あたりの利用者数で、平成30年度は70.9人/日、令和元年度は67.8人/日、令和2年度は現時点で66人/日の見込みです。コロナの影響もあり、減少はしていますが、総合計画との整合性、また、利用者の増加を目指して、目標は75人/日のままで設定しました。補助外である町営バス、地域間系統バスについても、乗継設定やバス待ち環境の整備により利用促進を図ります。事業の効果は、若者定住やコロナ収束後の観光集客を目指し、公共交通を維持します。

3、目標達成のための事業と実施主体については、デマンドバスの乗降場所の追加や、バス待ち環境整備、世代をと合わない利用者増加策としてバス利用について周知徹底します。

17 は、協議会の開催状況で、18、利用者意見の反映は、バス停標識の設置などハード面の改善と、気軽に予約できるソフト面での住民理解と周知に努めます。第1、5表は資料をご覧ください。以上です。

(会 長)目標値は75人/日でかえないとのこと。これで承認いただけますか？

はい、承認されました。

(事務局)「地域公共交通計画」と名称は変更いたしました。たくさんの資料を先に送付させていただきました。案について作成しました。送付した資料を組み合わせものとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

最初、基本方針は前回より変更していません。計画年、区域も前述のとおりです。

次は町内の公共交通概要と、さらに移動手段すべてにおいて記載されています。福祉有償運送、スクールバス、病院バスなども含まれます。

その次は、現在のバス収入や利用状況です。それと、広域幹線バスも合わせた、人口の流動について示されています。それと、町営バスとデマンドバスのこれまでの取り組みです。

次は、交通調査事業での住民懇談会や、運転手懇談会、アンケート、乗降調査の結果があります。乗降調査は町内バスだけでなく、広域幹線についても調査しており、とても有効なデータになっています。住民代表者会議の内容も記載されています。

その次に、この結果を踏まえて、課題解決や改善に向けた目標値の設定です。またその目標を達成するための施策案が書かれています。これは先に送付した、名古屋大学様からの知見そのままです。この内容について今日は協議いただきたいと考えております。特に船越バス停の設置と、レンタサイクルに加え、住民代表者会議意見のレンタカーについて検討をお願いします。

そして、これらの施策についての評価体制は PDCA と OODA ループの2方式を取り入れ、最後に公共交通会議の実施と委員名簿となっています。

(会 長)住民代表者会議など、とても有意義でした。

知見についてはいかがでしょうか？

(竹内委員)

いろんな意見と、皆さんの発言内容をうまく入れた内容となっていると思いました。

(橋本委員)

住民代表者会議で一番印象に残ったのは、水陸両用車で、それが記載されているので良いと思います。

私個人意見も随所に記載されていて、とても良いと思いました。

(加藤委員)

住民代表者会議が終わって、印象に残っているのは、バス、デマンドバスだけでなく、いろんな足の話が出たので良かったと思います。あの時点では、日本ヘリスさんの購入の話もあり、水陸両用なんかも現実にあるのだと感じました。車屋ということもあり、あと一足をレンタカーなんかを利用できると、やはり観光分野でも、バスとレンタカーなど組み合わせると良いと思います。あと、デマンドバスの利用について、ムービーを流したりなどの案が出て、住民の皆さんにわかりやすく説明していただけると良いかと思っていたので良かったです。

(上村副会長)

スクールバスについて、保護者の方からもいろいろな意見をいただいております。

同じ方向に向かうのであれば、スクールバスと一緒に一般の方も乗れてもいいのではないかと、とのご意見もあります。

(天野委員:三重県)

目指す姿が最初に書かれているが、目標についてもこの目指す姿とリンクした目標設定となると良いと思います。町の病院バスのことも書かれているが、福祉分野とのこともどのように考えていくのか教えていた

だきたいです。

(事務局)

移動手段について、病院バスがかかっているのに、福祉分野との連携が出てきておりませんでした。三重県さんの進めている福祉分野との連携がこのあたりになるのかなあとと思いますが、まだ詳細について、子育て福祉課や、高齢者支援課と連携できておりませんでした。少し、検討してみます。

また、病院バスについては、以前から三重交通や町営バスの後ろを、メディカルセンターのバスが走っているなど、重複部分もあり、少し気になることもあるので、両方必要なバスではるのでそのあたりの整合性などはどうしようかと考えることはあります。少し、考えてみます。

(加藤教授)

案としてまだできてないです。方向性ができましたが、計画や案ができていません。

方向性は良いが、アウトカムに達してないので、この5年で何をやるかのスケジュールがないので、そこを作成しなければならないです。報告としては良いが、承認はできないです。

それと、これから何をしていくのかのスケジュールがないので、これをやる為に、これをいつするのかを明確に書かなくてはならないです。3月に会議も1回中止になっていますので、この大きな会議だけでなく、専門的に進めて、考えて、皆さんに提出する。下手すると、これで次に出来上がってましたとなるといけないので、もう少しきちんと作りこむ必要があります。

(事務局)わかりました。方向性は良いとして、これからの計画をきちんと作成します。

(会 長)では、分科会など設定して、きちんとすすめてください。往々にして、行政が勝手に進めてしまわないようにお願いします。では、本日は方向性を認めていただくということで、よろしいですね。

では、事務局よろしくをお願いします。

最後に、公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピール案についてです。事務局、朗読をお願いします。

(事務局)

今年度異例の事態であるコロナウイルス感染症ですが、町内でも全国的に見ても公共交通の崩壊を招いています。そこで、公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて作成しました。朗読いたします。

「緊急アピール」朗読

(会 長)アピールの採択にあたり、承認をいただきたいと思います。

(加藤教授)

私自身が関わって、いろんなどこにお願いしている内容です。

まずポイントは、飲食店などは休業補償などがあり休業されています。保障があります。

しかし、公共交通は普通通り走っています。休業要請もありません。普通通り走らなければならないのに、お客さんがいない訳です。費用がかかるのに、収入がないです。そこを皆さん全くわかっていなくて、それが

普通だと思っています。追い込まれている事業者さんがたくさんいます。これは三重交通さんみたいなところでもみんな同じで、バス事業だけとったら、本当に悲惨な状況になっています。だから、みんなきちんと理解しましょうねとのことで、それは住民の皆さんや役場の皆さんに理解していただく。それと、公共交通はそんなに危なくないということです。三蜜もそうですが、皆さん交通事業者さんも頑張っているのです、心配しなくて良いということです。国とか県とか、皆さんにお願いしたいということ。昨日は鳥羽市で採択していただきました。

(会 長)では皆さん、採択するということでよろしいでしょうか。はい、では採択されました。では、その他事項、事務局。

(事務局)

- 1、次回会議は8月を予定しておりますのでよろしくお願いします。
- 2、お帰りの際の際の五ヶ所バスセンターまでの送迎について、必要な方は事務局までお申しつけください。

(天野委員:三重県)

緊急アピールにもありましたが、三重県として何かしていくということです。減収補償はすごくお金がかかるのですが、国でも補正予算が取れましたので、何とか公共交通へも予算確保できないかと考えて、頑張っ取りに行きつもりです。三重県も感染予防等、支援策を考えておりますので、またよろしくお願いします。

————— 閉会